

病診

連

携

NEWS



公益社団法人日本海員救済会
名古屋救済会病院

2024.1

医療連携室

052-652-7954

謹賀新年

新年明けましておめでとうございます。

2020年当初から始まった**新型コロナウイルス感染症との闘い**は、昨年大きな節目を迎えました。5月に感染症法の位置づけが2類相当から季節性インフルエンザなどと同じ5類に移行し、国のコロナ政策も大きく転換されました。クルーズ船「ダイヤモンドプリンセス号」へのDMAT派遣以降、当院も重点医療機関として多くの患者様を受入れてきました。また、地域の医療機関の皆様にも多大な労力を費やして頂いた4年余りの日々を想うと本当に感謝の念に堪えません。実際の現場では、いまだ陽性患者様の受診・入院は続いており感染対策をすぐに縮小することはできませんが、病院として時代の流れにうまく順応していければと考えています。

さて、2021年春、地域の皆様から

クラウドファンディングによる多額の寄付をいただいたドクターカーですが、やっと昨年末にまずは小型の**ラピッドカーが納車されました。**

コロナ禍の影響をまともに受けて納車が遅くなり、ご



心配をおかけし申し訳ありませんでした。緊急走行ができる状態で納車されましたので、各所と相談し1月15日から運用を開始したいと思っています。車内で手術やレントゲンがとれる救急車タイプのドクターカーの納車は今年春の予定で、その後は2台体制での運用となります。別件ですが、当院のERを半年以上にわたり取材した東海テレビドキュメンタリー映画「**その鼓動に耳をあてよ**」も1月末から順次全国公開されます。改めて地域の皆様に感謝すると共に、当院の地域医療、急性期医療への期待とその責任の重さを再認識しています。

今年**は外来棟の建て替え**も具体的に進めていかねばなりません。2028年～2029年を目途に完成することを目標に委員会で建設準備に取り組んでもらっていますが、建築費の高騰を受けて計画の見直しを余儀なくされています。できる限り各部門・各部署の皆さんの了解を得ながら迅速に準備を進めていきたいと思います。



当院は、昨年11月、現在の地で診療を開始して**創立75年**の節目を迎えました。初代の太田元次院長の創設当時から精神を伝統としてしっかり継承し、これからも地域の皆様信頼され選ばれる地域の基幹病院として救急医療と高度先進医療を柱とした診療を続けます。今年が連携医療機関の先生始め、職員の皆さんにとって良い年になる事を願って年頭の挨拶と致します。

令和6年1月

病院長 北川 喜己

